

# 正副議長 就任あいさつ



## 郷土の限りない発展を目指して

議長 坂口 幸夫

日頃より、私どもの市議会運営に、皆様の絶大なご協力を頂き、心から感謝申し上げます。

昨年12月から現議員での後期体制をスタートさせ、議員の皆様のご推挙を頂き、議長のお職に再任を仰せつかりました。

議会の円滑な運営と本市の発展のために誠心誠意努力してまいります。何卒よろしくお願い申し上げます。

私ども議員は、曾於市発展はもとより、市民福祉の向上を目的に適正な予算執行がなされているか、議会の使命である本

市の具体的政策の最終決定と市民の立場に立った監視について、真剣に取り組んでおります。

平成19年度一般会計当初予算は、188億4千万円ありますが、それぞれ分野における予算の執行については、市民にとって最大の果実となるよう期待するものであります。特に、本市の基幹産業は農業であります。厳しい国際競争や産地間競争に対応できる体質強化や、後継者育成、就農者の高齢化に伴う助成策等を更に充実していかなければならない

と強く思うところであります。また、教育の更なる振興を図る観点から、施設整備の充実も図って行かなければならないと思っております。そのようなか、市内の児童・生徒が各種スポーツ大会等で素晴らしい成績を収めており、誠に頼もしく夢

広がる思いであります。本市は自主財源に乏しく、厳しい財政運営は続きますが、市民のニーズに応え、少しでも本市活性化の要因となる事業展開を検討していく所存であります。

時代に即応した行財

政運営が行われるためには、住民に最も身近な存在である私ども議会が十分機能を発揮し、与えられた使命を果たすことが議会としての責務であります。今後とも、皆様の負託に応えられるよう努力することをお約束いたします。

最後に、市民の皆様のご多幸とわが郷土曾於市の限りない発展をご祈念申し上げます。

誠にありがとうございました。

あります。



副議長 海野 隆平

平成19年12月6日の本会議において、正副議長及び各常任委員会、並びに各常任委員長の選任が行われ、議員各位のあた

たかのご推挙により、副議長のお職に就任させて頂くことになりました。

身に余る光栄であり、もとより浅学非才ではありますが、責任の重さを痛感致しております。

曾於市も合併し2年有余が過ぎようとしております。旧3カ町の交流の深まる中で、徐々にではあります。市民間の融和と連携が図られつつあり、躍動する曾於のいぶ

きを感じております。

議会運営につきまして、議会運営委員会の意見を尊重しながら、公正無私を旨とし言論の府として、曾於市議会が円滑

に運営されるよう努力する所存です。

私ども議員は、日々市民の皆様のお声に立ち、市民の声を真摯に受け止めながら付託に答えてまいります。執行部に対しましては、一定の距離を保ちながら、チェック機能としての機能を十分に発揮してまいり所存です。

市民の皆様のお叱咤のなご意見、ご要望をお寄せ下さいますようお願い申し上げます。

誠にありがとうございました。